

令和3年

雲南市議会3月定例会 一般質問通告一覧表

【一般質問日程 令和3年3月4日～3月8日】

令和3年雲南市議会3月定例会 一般質問通告一覧表 目次

順番	日程	議席番号／氏名	質問方式	ページ	順番	日程	議員番号／氏名	質問方式	ページ
1	3/4(木) 9時30分～	11／松林 孝之	一問一答	1～2	11	3/8(月) 9時30分～	8／上代 和美	一問一答	18～21
2		10／中林 孝	一問一答	2～4	12		6／梶谷 佳平	一問一答	21～22
3	3/4(木) 13時00分～	5／鶴原 能也	一問一答	4～7	13	3/8(月) 13時00分～	12／中村 辰眞	一問一答	22～25
4		4／上代 純子	一問一答	7～8	14		15／周藤 正志	一問一答	25～26
5		9／足立 昭二	一問一答	8～10					
6	3/5(金) 9時30分～	16／細田 実	一問一答	10～11					
7		7／宇都宮 晃	一問一答	11～13					
8	3/5(金) 13時00分～	1／多賀 法華	一括	13～15					
9		3／児玉 幸久	一問一答	15～17					
10		2／安田 栄太	一問一答	17～18					

令和3年雲南市議会3月定例会 一般質問通告一覧表

令和3年2月26日

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1	11	松林孝之 (一問一答)	1. 経済振興策について 2. 高校魅力化について	<p>(1)石飛市長は「雲南プライド」というキーワードで多様性を尊重し、お互いを認め合える地域づくりを進め、市民一人ひとりが自分の可能性を感じることが出来る雲南市を目指し、新型コロナウイルス感染症対策と人口減少対策に力を入れるとされた。</p> <p>①選挙戦、所信表明において、コロナ禍で特に疲弊する飲食宿泊業等への支援に力を入れるとされたが具体策は。</p> <p>②「農業振興による経済の活性化」を掲げられたが、その具体策を問う。</p> <p>ア)兼業農家の経営基盤強化とは。</p> <p>イ)物流改革の収益性向上とは。</p> <p>③当初予算は骨格とされた中で、コロナ感染症が蔓延してから1年が経過し、今や全業種において存続の危機となっている。飲食宿泊業以外に対する地域経済対策の具体事業は。</p> <p>④県がGOTOイートの拡充をするとのことであるが、対象事業枠の拡大も必要と考える。本市独自で枠を設けることが可能か。</p> <p>(2)スポーツ文化活動を積極的に支援し人材育成や人づくり場所づくりを創造するとされた。丸山知事がオリンピック聖火リレーを経済対策と結びつけて中止を表明されたが、本市としてのスタンスは。</p> <p>(1)県内公立高校の入試出願状況が発表された。大東高校、三刀屋高校は2015年のクラス数削減前の数値に戻りつつあり、市内3高校とも志願者数は低迷しているがその要因は。</p> <p>(2)高校魅力化の1つとして「松江シティFCユースの設立」は大東</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>高校が受け入れ校として地元地域からの期待も大きかった。12月議会の直前にユースチーム設立断念の報道があり、大きな波紋が広がるも2月の委員会において詳細な説明がなかった。議会はもとより市民への説明をすべきである。</p> <p>①ユースチーム設立の話し合いで「お互いの認識の相違」とは。 ②松江シティFCのホームページでは「一旦は白紙であるが、引き続き最善を尽くす」とあるが、その後の状況は。 ③大東高校を希望していた対象の生徒へのフォローは。 ④地域を挙げての対応準備が進められていたが、そこに対するフォローは。</p> <p>(3)今回の残念な結果をしっかりと検証し、次なる高校魅力化を打ち出さなければならない。少子化はますます進み、児童生徒数は減少の一途である。市内最高教育機関である「高校」の魅力化は、生徒数を増やすことが目的ではなく、心豊かな魅力あふれる生徒を育てることである。まさに「雲南プライド」を持つ若者の輩出の場と考える。市長の見解を伺う。</p>	
2	10	中 林 孝 (一問一答)	1. 所信表明について	<p>(1)本市には様々な課題があるが、どう認識しどのような対応方針で臨むか。特に重点項目として取り組むのは何か。</p> <p>(2)所信表明では「豊かな暮らしが実現できる地域をつくる」ことが人口減少対策の根本的な対策と表明されているが、豊かな暮らしとは具体的にどういう社会か。また、具体的にどのような施策でアプローチするか。また、その実現可能性について伺う。</p> <p>(3)人口減少社会にあって、次世代を担う本市の子供たちの教育に(国、県はもとより本市内も含め)格差が生じてはならない。どう</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 産業政策について	<p>認識しどのような処方箋を描くか。</p> <p>(4) 交流センターの建替えや放課後児童クラブの充実等についての考えを伺う。雲南市実施計画（R3～R7年度）では交流センター建設や放課後児童クラブの建設予定が今後5か年の中で示されていない。市民から要望書が提出されている案件について「市民に寄り添って」協議を進め具体策を提示すべきではないか。</p> <p>(5) 今後、本市の財政指数の悪化は避けられない。一方、必要な事業は目白押しだ。優先順位をつけて取り組まなければならないが優先順位の高い事業は何か。それにより財政指数の推移はどう変化するか。</p> <p>(6) 既存プロジェクトの見直しについてどういう考えで臨むか伺う。また、今後の進め方やスケジュールについて伺う。</p> <p>(1) 本市の重要な産業である農林業の振興に力を入れるとのことである。農業について、どのような分野にどのような施策を講ずるか。また、県は種子法に代わる新たな条例を定め、稲や麦など主要農作物以外に野菜も加え対象を広げる考えだ。県と共同歩調をとり本市の農業振興を図るべきと考えるが、所見を伺う。</p> <p>(2) その他、畜産業（共進会対策）や伐期を迎えた林業資源の活用等、取り組むべき分野は多い。どのような基本方針で臨むか。</p> <p>(3) 建設業も本市の重要な産業のひとつだ。中期財政計画によれば普通建設事業費は先細り状態にある。本市の建設業界への対応は十分か。</p> <p>(4) 公共工事の発注に関し指名審査会の審査基準に透明性が必要と考える。市長の方針に「市民の声をよく聞き市民本位の政治を行う」</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 木次線対策について	<p>とある。透明性を求める市民の声にどう耳を傾けるか。また、情報公開すべき事項は開示すべきと考えるが所見を伺う。</p> <p>(5) コロナ禍でテレワークが進んでいるが、テレワーク可能な職種とそうでない職種がある。テレワークを活用した産業政策、雇用確保を推進すべきと考えるが、所見を伺う。</p> <p>(6) 首都機能移転がかつて議論されたが、実現できたのはごく一部で成果はほとんどなかった。テレワークが日常となった今こそ首都機能を本市に移転することを国に対して働きかけるべきではないか。</p> <p>(1) 新型コロナの影響でJR西日本も赤字となり公共交通事業者にとって受難の時代となった。コロナを理由にして木次線存続に赤信号がともらないようにしなければならない。市長の「断固たる」決意、そして県との連携策について伺う。</p> <p>(2) 当初予算で木次線利活用推進協議会に対する負担金増の予算が示された。使途と効果について伺う。</p> <p>(3) トロッコ列車の運行存続に向けた交渉経緯、今後の本市の対応策について伺う。</p> <p>(4) 以前「あめつち」の木次線入線について提言した。その後の進捗状況について伺う。</p> <p>(5) 木次線活性化のため木次体育館横に展示されている「C-56108」機関車を積極的に活用してはどうか。</p>	
3	5	鶴原能也 (一問一答)	1. 大型2大プロジェクトについて	(1) 大型プロジェクト事業（食の発信推進事業、サッカー場整備事業）について、「早急に検討を進め、方針が定まった後にお示しする」とされているが、今後具体的にどのように取り組まれるのか、またいつ頃方針を示されるのか。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. “幸せを運ぶコウノトリ”と共生するまちづくりビジョンについて	<p>(1) “幸せを運ぶコウノトリ”と共生するまちづくりビジョンについて、平成31年3月に“幸せを運ぶコウノトリ”と共生するまちづくりビジョンを策定され、令和2年2月には、このビジョンを具体化し着実に実現するため、アクションプラン（行動計画）が策定された。</p> <p>①市民アンケート調査による、市民の回答についてどう評価されているのか。</p> <p>②令和2年度～5年度までの4年間のアクションプランの令和2年度の進行管理の実績と評価は。</p> <p>③共生を活かしたまちづくりに賛成が約85%、共生を活かしたまちづくりへの期待が約79%。これを新年度予算や取り組みにどう活かされているのか。</p> <p>④「雲南市のブランド価値の向上」としての全体イメージ図からは、市長の「雲南プライド」はコウノトリがもたらす恵みの好循環に合致しており、まちづくりに活かすことが必要と考えるが。</p>	
			3. JR木次線の利用促進に向けた取り組みについて	<p>(1) JR木次線の利用促進に向けた取り組みについて</p> <p>①「安定的な乗車員数の確保及び路線の維持につながる活動を展開する」とされているが、具体的な活動の内容はどのように展開されるのか。</p> <p>②新聞社のアンケートに、島根県、沿線自治体などが一丸となって木次線の利用促進、活用ができる体制づくりを行い、積極的に関わっていきたいとコメントされているが、「体制」と「関わり方」について具体的にどのようなものをイメージされているのか。</p>	
			4. 防災重点農業用	<p>(1) 防災重点農業用ため池の整備について、令和3年度から計画的</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>ため池の整備について</p> <p>5. 登下校中の事故防止に向けた取り組みについて</p> <p>6. バス停に待合椅子の整備を</p>	<p>に整備を進めるとされているが、このうち市内で10カ所ある特に危険なため池の改修工事の一つについて、市の負担分の予算措置ができないことを理由に事業計画の変更を打診された。コロナ禍で大変厳しい財政状況も理解できるが、ため池の下流部には住宅地、学校等の施設もあり、地震・豪雨が発生した場合甚大な被害が予想されることから計画通りの整備ができないか伺う。</p> <p>(1)もうすぐ、真新しいランドセルを背負ったピカピカの1年生がお兄さん、お姉さん達に連れられて登校する姿をみることができる季節が来るが、現在雲南市が取り組まれている、子ども達の登下校中の事故を未然に防止する具体的な取り組みについて伺う。</p> <p>(2)平成31年4月に策定された「雲南市通学路交通安全プログラム」について</p> <p>①危険箇所の抽出は具体的にどのように実施されるのか。</p> <p>②合同点検の対象箇所は、危険箇所として抽出された箇所のみか。通学路の全てを点検対象とされることはないのか。</p> <p>③公表されている危険箇所対策一覧表を見ると、例えば、道路幅が車1台と狭く、交通量も多く危険であるという状況について、対策内容欄は、「現在のところ道路の改良(拡幅)、歩道設置の計画はありません」という記載のみだが、もう少し踏み込んだ対応はできないのか。</p> <p>高齢者の方にとって重要な交通手段となるのがバスである。しかし大都市と違って便数が限られることから、どうしても待ち時間が長くなる。多くの高齢者の方から「長時間立ったままで待つのは体力的に辛いから待合椅子を設置して欲しい」という話を数多く聞く。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				中には、道路の縁石に座ってバスを待っている大変危険な光景を見かける。利用の促進、事故防止のため待合椅子の整備ができないか伺う。	
4	4	上代純子 (一問一答)	1. 除雪について 2. 幸せを運ぶコウノトリのロゴマーク等の活用について	<p>(1) 除雪車のオペレーターの方の確保が課題となっている。オペレーター不足の解消法がないのか伺う。</p> <p>(2) 県道吉田三刀屋線において、三刀屋地区の流雪溝利用の区割りと時間指定の周知が事前にされている。しかしながら当日、除雪作業が一斉に行われたことにより流雪溝が詰まり、その影響で一軒が浸水した。1カ月前に周知された以降は、前日の告知放送でのお知らせだったので、このような事態が生じたのではないかと考えられるが、何らかの予防策はなかったのか伺う。</p> <p>(3) 流雪溝のポンプの故障で何日も除雪ができない状況があった。故障の原因として考えられるのは、ポンプが更新期であったのではないかと感じるがいかがか。</p> <p>(4) 道路除雪については基本的には行政が行うものとするが、そうでないところは、ボランティアの方が除雪の対応をされたところもある。通学路も同様に保護者、市民の方の協力があつたが、いずれも手作業もあり、除雪作業が追いつかなかつたところもあつた。支援をするために、たとえば希望される場所には市内の各地域自主組織等の単位で小型除雪機を購入配備できないか伺う。</p> <p>(1) ロゴマークを有効活用するために、婚姻届にロゴマークを入れ、全国共通の婚姻届と選べるかたちにし、届出をした際に、ロゴマーク入りの婚姻届証明書を作成してはいかがか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. ごみ処理の民間連携について</p> <p>4. コロナ禍の経済対策について</p>	<p>(1) 雲南圏域（飯南町）において、民間による廃棄物処理施設の整備計画があるとのことである。民間にとっては採算が一番の課題で、ごみ処理費の高騰、ごみ処理の休止等あってはならないことが起きるのではないかと懸念されている。また、その防止策はいかがか伺う。</p> <p>(1) 現在、キャッシュレス決済消費喚起支援事業を行っているが、導入、利用の進捗状況を伺う。</p> <p>(2) キャッシュレス決済消費喚起支援事業は、即効性のある経営支援というよりも、将来のキャッシュレス時代に各事業所が備える長い目で見ると考えるがいかがか。</p> <p>(3) 昨年の段階では、発売予定がない雲南プレミアム商品券だが、消費者からは使用しやすかったと聞く。今年も継続的な発売を行い、消費喚起の一助とする考えはあるのか伺う。</p> <p>(4) 浜田市では、事業者の業種を問わず特別応援給付金を支給される方針が明らかになったが雲南市でも業種を問わず、事業継続を支援するこのような施策の考えはあるのか。</p> <p>(5) 雲南市の小規模業者、特に地域に根ざした小売りの商店は、ご高齢の世帯、独居の方、地域になくてはならない存在であると感じているが、このコロナ禍において小さな地域の拠点となる商店への支援はどのような考えか伺う。</p> <p>(6) 飲食業のみならず、商工業事業者、農林業事業者全体が経営の危機感を感じている今、市長はこうした事業者に対して支援を行い、いち早く地域経済を立て直す必要があるとおっしゃっていたが、具体的にいつ、どのようにして支援されるのか伺う。</p>	
5	9	足立昭二	1. 政治姿勢について	(1) 市政運営に臨む基本的な姿勢について伺う。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		(一問一答)	て	<p>①市長選挙に挑戦しようと思われたと、就任1か月経過した率直な思いを問う。</p> <p>②丸山島根県知事の東京オリンピック聖火リレーの中止検討表明発言の見解を問う。</p> <p>③所信表明では、速水市政16年間の評価について述べられているが、「良いところはさらに伸ばし」とは何か、「必要なところは修正しながら」とはどのような点か問う。</p> <p>④市職員には「常に市民の皆様に寄り添う姿勢を持つ」とはどのようなことか。現場へ今まで以上に出かけていく、ことなのか問う。</p> <p>(2)人口減少対策について</p> <p>①雲南市は人口減少が続いている。8市比較しても減少率は大きい。その総括を問う。</p> <p>②市長は「人口問題は、日本全体が経済成長を遂げ、東京周辺に一極集中が進む中で、生活や人生における余裕が失われてきたことが根底にあると考えております」と述べられた。島根県、雲南市の減少の問題点はどこにあるのか問う。</p> <p>③雲南市の人口減少に関する具体的対策が示された。子育て負担の軽減を図ることを定住対策、子育て対策の基本として取り組むと述べられたが、具体的施策を問う。</p> <p>(3)JR木次線存続について</p> <p>①JR西日本は、「低収益のローカル線について廃止も含めて今後の在り方を見直し、地元と議論を進めていく考えを明らかにした。」と新聞などで報道された。市長のJR木次線存続の所見を問う。</p> <p>②所信表明では利用促進に向けた取り組みについて述べられている</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>が、12月議会でも質問したように、利用促進だけでは存続はますます厳しくなっている。国の法律でもある「鉄道事業法」の改正がますます喫緊の課題と考えるが市長の見解を問う。</p> <p>(4)「幸せを運ぶコウノトリ」と共生するまちづくりの推進について</p> <p>①コウノトリが雲南市に飛来してから今日まで市が取り組んできた施策とその成果と課題について問う。</p> <p>②市長は、コウノトリの保護や活用について新しい施策含めて所見を問う。</p>	
6	16	細 田 実 (一問一答)	<p>1. 平和行政について</p> <p>2. 行政改革について</p> <p>3. 教育行政について</p>	<p>(1)市民生活の向上は平和無くしてはできない。雲南市は「平和を」の都市宣言を行い、また、永井隆博士、上代タノ先生の有縁の地であり、市政において平和の追求、平和行政の推進が重要と思うが市長の平和行政への考えを問う。</p> <p>(2)核兵器禁止条約が発効したが日本は参加していない。唯一の核兵器被爆国として参加するよう働きかけるべきではないか。</p> <p>(1)地域の担い手不足、高齢化、コロナ禍などにより、公共の役割はますます重要となっている。小さな政府論、あるいは「自助」では地域も生活も立ち行かなくなっているのではないか。</p> <p>(2)保健所の統廃合などにより感染症対策も軽視されてきた結果がコロナ感染症に対しても十分対応できていない原因ではないか。</p> <p>(3)公の役割が重要となっている中で雲南市も定員管理計画のもと職員数を減らしてきたが「公助」が重要となっている中で定員管理の考え方をどのように考えているのか。</p> <p>(1)地域と学校とのかかわりが重要と「教育支援コーディネーター」を配置し取り組んできた。来年度から制度を変えるとのことだがど</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 島根原発の安全 対策について	<p>のようになるのか。</p> <p>(2) 中学校区配置の教育支援コーディネーター活動時間と労働条件について問う。</p> <p>島根原発2号機も新規制基準での審査が終盤に差し掛かっていると聞く。審査は安全を保障するものではないが、仮に審査が終了した場合雲南市はどのように対応するのか。</p> <p>(1) 市長の原子力発電に対する基本認識を問う。</p> <p>(2) 立地自治体と同等の安全協定が必要、また市も周辺市と協力して同等の安全協定を求めてきたが、その進捗状況と今後の対応を問う。</p> <p>(3) 実効性ある避難計画と避難受け入れ態勢が必要と思うがその進捗状況を問う。</p> <p>(4) トイレのないマンションといわれる今の原発政策は大きな岐路に立っている。放射性廃棄物の処理を含め納得いく住民説明の必要性を問う。</p>	
7	7	宇都宮 晃 (一問一答)	1. 政治姿勢について	<p>(1) 市長は所信表明で、基本姿勢として「これまでの市政運営の考え方を尊重しながら、市民目線に立った市民本位の市政を行う」とあるが、多くの課題を抱える市のどこに重点を置いて市政運営を進めていかれるのか問う。</p> <p>(2) 新型コロナウイルスワクチン接種の現在の状況について、およびコロナ禍の影響を受ける事業者への支援策は新年度当初予算では市長のカラーは出せないのか、補正予算によりしっかり支援策を講ずるべきと考える。見解を問う。</p> <p>(3) 人口減少対策は一部地域だけの問題ではなく、日本全体に関わる難題である。島根県が取り組む人口減少対策を盛り込んだ「島根創</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 小学校の少人数学級について</p> <p>3. 小学5、6年の教科担任制について</p>	<p>生計画」の推進と連携することにより、生活や人生の余裕を求め、住みたい、住みよい地域を求める人々と共に豊かな暮らしが実現できる地域をつくることこそが、この問題に対する対策であると考えている市長の取り組みには賛同する。改めて、市長の見解を問う。</p> <p>(4) JR 西日本が低収益のローカル線について廃止も含めて地元と議論を進めると表明したことに関し、島根県の丸山達也知事は定例会見で、「県内で該当路線があれば大きな問題だ」と指摘した。新型コロナウイルスの影響で大幅な利用減となり、ローカル線の維持が難しくなっているようである。JR 三江線が三年前に廃止され、県内では山陰本線、山口線、木次線の3路線が走る。市民からは「木次線が廃止されるのでは」という不安の声も聞こえる。県は21年度の一般会計予算案に木次線の利用促進事業費を盛り込んでいる。これまでに、島根県、広島県や木次線沿線自治体関係者で利用促進のイベントも実施された。木次線存続について見解を問う。</p> <p>(1) 公立小学校の一学級当たりの上限人数が2021年度から5年間かけ全学年で35人となる。少人数学級は「豊かな学び」につながり評価される。だが少人数化と学力の「効果」を結びつけてならない。子どもには学習権があり、それを保護するのが国や自治体の仕事である。少人数学級に対する見解を問う。</p> <p>(1) 中教審は小学5、6年で2022年度をめどに、専門の教員が教える教科担任制を導入することにした。対象科目に理科、算数、英語を例示。これは専門の教員による授業は分かりやすく、児童の学ぶ意欲の向上にもつながると考えられる。問題点もあると考えられるが見解を問う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 学力調査について	(1) 県教育委員会が小学5年～中学2年を対象に実施した2020年度県学力調査の結果が発表されたが、その結果と過去数年のデータとの比較を問う。	
8	1	多 賀 法 華 (一 括)	1. 農業支援について 2. 学校教育について	<p>市長は、今回の選挙の際に、具体的な政策提案動画の中で、「若い人が雲南市に住むための幸せを感じてもらうためには、未来への夢や希望が必要。頑張ればお金が稼げる仕組み・環境が大事。これまで売れなかった農産物や産品が市場に出て販売されるようになる。現在の物流を変える。雲南市の産業の基本は農業。集落営農や6次産業の取り組みは継続しながら、他の仕事をしながら、農業を営むというライフスタイルを支援していくことが必要。共同作業や担い手育成の観点から、小規模兼業農家の存在は極めて重要。現在農地を維持していただいている農家の耕作意欲の向上や経営の安定化対策として、有害鳥獣の駆除の促進、耕作放棄地の復元利活用に推進するなどしていく」と話されていた。</p> <p>(1) 実際にどのように物流を変えるのか、農業の支援についてどのような施策をしていくのか問う。</p> <p>(2) 担い手育成の観点から小規模兼業農家の存在は重要と話されていたが、この担い手育成は田舎で農業をしてみたいIターンやUターン者の方に対する支援もふくまれるのか。</p> <p>(1) GIGA スクール構想の一人一台端末の機器について、文科省の標準仕様書にはWindows、Google Chrome OS、iPadOSが想定されている。Windowsはアップデートの回数が多く、インターネット回線を圧迫すること、操作自体に時間がかかることの心配がある。Chromebookは基本Chromeというブラウザの機能がメインになる為、</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>その他の機能がほぼなく、アップデートデータは数 100MB 程度で済む。アップデート容量も少なく、処理も早く終わるので生徒が各自で処理できる。児童・生徒に有益である方を選ぶ必要があり、WindowsPC か Chromebook またはその他にもあるのか、きちんと議論してから決めなければならないと思われるが、その点についてはどのように考えているのか。</p> <p>(2)雲南市の基本目標「ふるさとを愛し、心豊かでたくましく、未来を切り拓く、雲南市の人づくり」を達成するために、保護者、地域住民が学校との連携のもと、目標を共有し、協働していくのがコミュニティスクールであるはず。地域と学校をつなぐ要であった教育支援コーディネーターを、地域コーディネーターに移行するまでにもう少し本人や地域と相談する必要があったと思うが、経緯について伺う。</p> <p>(3)学校と地域の創意工夫による教育活動の一層の推進であるための「地域とともにある学校づくり推進事業」は、今年度から開始された事業だが、コロナのことがあったせいもあるが、内容がほとんど地域に知らされていないと聞く。地域の実情に応じた補助金の使い方も関係してくる部分であり、早急に学校運営協議会を通し、現場の地域学校共同活動主体者に相談するべきである。このように現場軽視で動かれていく姿を見ると、小中一貫学園化構想も、一部の方でいつの間にか決められて、報告だけ受けて終りになるのではと懸念している。小中一貫学園化構想については、保護者の方や特に子どもたちの意見やアドバイスを聞くべきと私は思うが、どのように考えているのか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 選挙について	<p>(4)この質問を通して一番聞きたいのは、教育委員会に限らず、本気で市民と協働のまちづくりをしようと思っているのかどうか。「地域と行政の協働」と口や文書では良いことを言っているが、実際には現場軽視なのではないか？行政だけでまちづくりをすることはいけないのか、市民の意見なんて全部聞いていたら何も出来ないじゃないかと本当は感じているのではないか。パブリックコメントも市民の意見が出しやすいように全力で工夫しているのか。本当に必要だと思っているのか。なぜ、市民と一緒にまちづくりすると決めたのか、改めてその理由と目的を伺う。</p> <p>(1)今回、市長は初めて選挙に関わったと思う。実際やってみて、現在の選挙のやり方についてどのように思ったか。選挙の投票率が上がらなかった点、高齢者の投票行動を助ける政策は十分だったかという点、新聞やケーブルテレビがない人や自治会に入っていないくて広報が手に入らない、特に若者に候補者の情報が十分だったかという点など。今回に限らず、市議会議員についても、他の町の議員のことは、いっさい分からない。インターネットだけでは高齢者には分かりづらい。夢ネットで放送するなどどんな人が議員か教えて欲しい。また聴覚に障がいのある方には、車に乗った選挙運動や街頭演説では分からない。と、言ったご意見いただいた。もちろん、選挙は、候補者のやり方に任せてあるところもあるし、市だけで選挙の方法を変えるのは難しいのは分かっているが、現在の選挙についての市長の見解を伺う。</p>	
9	3	児玉幸久 (一問一答)	1. 地域公共交通 (バス等) について	(1)市内におけるバス等(市民バス、スクールバス、だんだんタクシー等)の現状について伺う。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			て	<p>①バス等の路線の現状（路線数・便数やカバー率）と、その利用状況について、どのように認識しているか。（※だんだんタクシーの概要も併せて簡単に説明を）</p> <p>②バス利用者が全体的に減少しているが、その理由は何だと考えているか。</p> <p>③バス等の運行に係る財政負担の状況は。（金額と推移）</p> <p>(2)『雲南市地域公共交通再編実施計画』について伺う。</p> <p>①計画の目的とその概要は。（簡潔に）</p> <p>②市民バスの再編を行った場合、利用者数はどの程度増加すると考えているか。</p> <p>(3)利便性の向上・効率的な運行となるよう市民バスの再編を行うとともに、利用促進を図る必要がある。バス等の利用促進に向けた取組みについて伺う。</p> <p>①運転免許返納者への対応として取り組んでいる「高齢者等運転免許自主返納支援事業」の取り組み実績は。</p> <p>②高齢者等で運転免許証を返納し車を運転できなくなってからでなく、車に乗れるうちにバス等を利用する動機づくりが必要ではないか。</p> <p>③若い世代も含め、たまにバスを利用してもよいと思っても、利用の仕方がよく分からないという人もいるのではないか。バス等の公共交通を賢く使う「モビリティ・マネジメント」の取り組みについてはどう考えているか。</p> <p>④「車に比べ多少不便であっても、使って維持していかないといけない」という意識の醸成が重要だと思うが、市の取り組みは。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 空き家対策について	<p>⑤市職員は率先してバスの利用をしていくべきだと考えるが、バス利用の実情はどうか。</p> <p>⑥観光客が利用しやすい（利用できる）バスとするための取り組みは。（路線・ダイヤも含めて）</p> <p>(1)雲南市における『空き家対策』の現状について伺う。</p> <p>①現時点での、市内の空き家戸数はどのくらいあるのか。</p> <p>②老朽判定の内訳は。</p> <p>③空き家バンクの登録状況および、利用実績は。</p> <p>(2)『空き家対策』の推進体制について伺う。</p> <p>①定住推進員、定住協力員の役割と、現時点の配置状況は。</p> <p>②空家対策を強力に推進していくためには、推進体制の充実・強化が必要と考えるが、市の考えは。</p>	
10	2	安田 栄太 (一問一答)	<p>1. コロナ禍の影響を受ける事業者への支援策について</p> <p>2. サッカー場整備事業について</p>	<p>飲食・宿泊業へのさらなる支援を行うとあるが、外食自粛のムードがある中、県が示しているガイドラインはあるものの、宴会など団体客の利用はほとんどなく、危機的状況であり、事業者にとっては、先行きの見えない不安がある。</p> <p>(1)飲食・宿泊・タクシー業消費喚起支援事業は業況回復にどの程度効果があったのか。予算規模として適正であったのか伺う。</p> <p>(2)消費喚起以外の支援はどのようなものを考えているのか伺う。</p> <p>(1)検討をするとあるが、判断材料として市民の声を聴くのか。聴くのであれば、どのような方法で聴くのか伺う。</p> <p>(2)松江シティFCユースの誘致が白紙となったが、セレクションに合格して、大東高校へ進学を目指していた子供たちが傷ついている現状がある。このことに対して、市としてコメントを求める声があ</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. キャンプ場の整備について</p> <p>4. 農林業の振興について</p>	<p>るが、所見を伺う。</p> <p>(1) 市内のキャンプ場施設について、利用者が増加している。木次健康の森では、老朽化や利用者からの要望などで、遊具の改修、トイレの洋式化、電源ボックスの増設など、整備を求める声がある。コロナ禍の影響で屋外での活動が見直され、今後もこのような施設の利用が見込まれ、田舎特有の観光資源として見直す価値があると思うが、所見を伺う。</p> <p>(1) 農林業は本市の重要な産業であるが、様々な課題を抱えている。今後、どこに重点を置いて、どこを伸ばして発展させていくのか所見を伺う。</p>	
11	8	上 代 和 美 (一問一答)	1. コロナ対策について	<p>(1) 丸山知事がコロナ対策の強化と補償、オリンピックの中止を求めたことが全国で話題になっている。影響は地方に及んで、感染が大きく広がっていない本市でも打撃になっている。感染者が減少してきた今こそ、感染拡大している地域での無症状者を含めた感染者の把握と保護でコロナを封じ込める必要がある。このことを国へ市も求めるべきではないか。</p> <p>(2) 地方は医療が脆弱で、いったん感染が広がったり、クラスターが発生すれば大変なことになる。この間、全国でも半数を超える25都府県が社会的検査を実施または計画している。となりの鳥取県でも実施され始めている。市として、重症化リスクの高い医療機関、高齢者福祉施設職員など、全額国費の積極的な社会的検査を行うよう国に強く求めるべきだ。同時に市としても県と連携し実施すべきである。</p> <p>(3) 長引くコロナ禍の影響を受け、営業の継続が難しくなってきた</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. ジェンダー平等 について	<p>いる事業所が出てきている。飲食業を中心に、一年の中でも最も収入が多くなる3月、4月の時期を2シーズンも自粛をせまられ厳しい営業実態が続いている。業者の方からは持続化給付金のような直接支援をしてもらいたいとの声がある。国へ持続化給付金を再度給付するように声を上げるとともに、市としても、昨年交付された地方創生臨時交付金を基金として1億2000万円を貯めこんでしまうのではなく、その予算を活用して、今こそ厳しい業者への支援拡充をすべきではないか。</p> <p>(1) 森喜朗東京五輪・パラリンピック組織委員会元会長の女性蔑視発言は、今の日本のジェンダー差別の実態がまさにジェンダーギャップ指数世界121位であることを如実に示した。コロナ禍において、女性が雇用等においても厳しい状況にたたされ、DV被害や自殺者も増えている状況にもある。ジェンダー差別が多く矛盾と人権侵害を引き起こしている。市政のさまざまな課題の政策決定において、ジェンダーの視点を貫くことが重要になってきている。特に法令や条例に規定された審議会等への女性参画、庁舎内での女性管理職の登用など市の数値目標を実現し多様な意見が取り入れられるようにすべきである。見解をうかがう。</p> <p>(2) 世界から見て、日本は「ジェンダー後進国」となっている。ジェンダー平等について学校現場では子どもたちの実態に即して多様性を尊重しながら教育実践が行われていることも聞いている。長年にわたって「男はこうあるべき、女はこうあるべき」と刷り込まれ、それによって人権が侵害されてきた実態がある。学校教育、社会教育の場でのジェンダー平等についての学習が非常に重要であり、市とし</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 原発問題について	<p>て積極的に取り組むべきである。見解をうかがう。</p> <p>(1) 福島原発事故からまもなく 10 年になる。いまだにふるさとへ帰還できない多くの方々があり、汚染水問題、核のゴミの最終処分場問題など多くの問題が解決されないままになっている。2 月 13 日、福島、宮城両県を中心に起きた震度 6 強の地震は、住民にとってまたもや原発事故を想起させる恐怖になった。島根原発 30 キロ圏内に位置する本市にとっても、原発問題は他人事ではない大きな問題である。島根原発 2 号機の再稼働の動きが来年度にも出てくる可能性があるが、現実問題として、いったん事故が起きれば、ふるさとに帰還できないこと、核のゴミの最終処分がいまだに解決できないこと、コロナ禍においてさらなる困難を国民が強いられることなどの理由で原発の再稼働はありえない。市長は再稼働についてどういう見解を伺う。</p> <p>(2) 先般行われた市の安対協で、市民からは再稼働についてや安全協定についてなど、さまざまな意見が出ていた。将来にわたって市民の安全・安心を担保することが市長の最大の役割である。委員からは「自分の周りの若いお母さんたちは 2 号機の再稼働はしてほしくないと言う声が多い、どういうふうに市民の声を集約するのか」という質問をされていた。市長はこのような市民の声に対し、しっかり向き合いひろく市民の声を聞くべきである。原発問題にどう取り組まれるのか。見解をうかがう。</p>	
			4. 通学路の安全対策について	<p>(1) 地元での議会報告の中で、「大東中の通学路が暗く、子どもたちが怖がっている。何とかならないか」との要望が出された。実際に夜歩いてみると、防犯灯はあるものの、山側に続く道は大人でも危な</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>い思いになる。何か事故があつてからでは遅いし、子どもたちが危ないと思う通学路は見直す必要がある。子どもたちの意見を聞き、市全体の学校の通学路の点検をすべきである。</p> <p>(2) 通学路の防犯灯(赤川土手)が消えたままになっているところがあるが、一般的に自治会設置の防犯灯と違い管理責任の所在が明確ではない。市として管理の仕組みはあるのか。防犯灯の管理が適切におこなわれるようにすべきである。</p>	
12	6	梶谷佳平 (一問一答)	<p>1. 除雪について</p> <p>2. 市内企業への支援について</p>	<p>(1) 各連坦地の除雪実績について。除雪ボランティアへの交付金が少額すぎるとの声について。</p> <p>①除雪ボランティアに支払う交付金等が少額で、ガソリン代にもならない。積雪量にもよるが、15センチ以上降ると除雪にかなりの時間を要することから、交付金は増額してほしいとの声がある。</p> <p>②各地域の独居老人・ひとり親世帯等の自宅から市道までの除雪を各地域自主組織等が、地域の世話人等に委託した場合、それに対する交付金は支払われていないと聞く。委託しておきながら、支払わないのはおかしい。</p> <p>(2) 地域の企業・個人が所有する除雪機械の消耗品等(ホイールローダーのチェーン等)の補助制度を創設する考えはないか。</p> <p>①除雪ボランティアの募集・研修を地域自主組織へ委託し、市の業務効率化を図ってはどうか。</p> <p>(1) 雲南市公共施設等総合管理計画で記載されている63施設中で、長年放置されている施設も多い。今後、市民や市内企業に貸出す又は譲渡の計画はあるのか。</p> <p>(2) コロナ禍で、売り上げが激減している企業向けとして、雲南市単</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. 人口減少に歯止めをかける定住対策について</p> <p>4. 加茂交流センターについて</p>	<p>独給付金制度の計画はあるのか。予算確保が難しければ、一時的に市長・職員・議員の給与を一部カットし、それを市内企業に配分してはどうか。市民・市内企業はコロナ禍で苦しんでいる。我々の給与は、市民の皆様から納めていただいた税金である。市民が苦しんでいれば、我々もその痛みを分かち合う必要があると思う。</p> <p>(3) 求人企業が、有料人材紹介企業を活用して正社員を採用した場合、有料人材紹介企業へ支払う採用成功報酬の補助創設について。県は、プロフェッショナル人材戦略拠点事業を活用し、有料人材紹介企業からの紹介で正職員を採用すると、採用成功報酬の1/2 上限130 万円を補助している。市としても、追加補助を行い企業負担軽減を図ってはどうか。</p> <p>(4) 市は、消費活動の活性化を図るため、paypay を導入した。高齢者の多くは、paypay が利用できず苦情が来ている。他制度の再考をお願いしたい。</p> <p>(1) 定住促進策として、子育て世帯・高齢者世帯・障がい者世帯への支援を、他市町村よりさらに優遇すべきではないか。</p> <p>(2) 住宅支援を他市町村より優遇すべきではないか。</p> <p>(1) 加茂交流センター建設にかかる費用の増額分の説明があいまいではないか。総務常任委員会での質問に回答していない。3.5 億から4.5 億の説明を願いたい。</p>	
13	12	中 村 辰 眞 (一問一答)	1. 市長の政治方針について	<p>私を含む議員も市長も共に公選職である。公選職である以上、選挙戦で有権者に対して語りかけた言葉は公約であると考え。今回の選挙時に市長が語られた事項や政治信条などについて質問する。</p> <p>(1) 政治信条について</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 上代タノ先生について	<p>自治体の首長として旗を振っていくからには、明快な政治的考えがすでに構築されていると思う。その裏付けとなる政治信条を伺う。</p> <p>(2) 遊説時の言葉について</p> <p>① 「原前市長の路線を継承する」とは、具体的に何を指しているのか伺う。</p> <p>② 「振り返らず、立ち止まらず、前へ進む」このことは、多くの場所で語られていたと記憶している。早急に市の立て直しをする考えを示し実行するのであれば、過去の経緯をしっかりと見つめ、熟慮をし、目の前の現実に照らし合わせることで、進むべき道筋が見えてくると考えるが、市長の考えを伺う。</p> <p>③ 「雲南プライド」とは何かを伺う。</p> <p>4 月に永井隆記念館がオープンする。すでに周辺から立派な建物や威風堂々とした平和の鐘を見ることが出来る。その容姿に感動している。今後雲南市の平和学習の拠点としての機能を十二分に果たすものと信じている。</p> <p>(1) 第3次雲南市教育基本計画では目指す人物像とされ、第4次雲南市教育基本計画では、基本目標を達成することは、郷土の生んだ偉大な先人である上代タノ先生のいう「故郷を愛す 国を愛す 世界を愛す」や、永井隆博士の謳った「如己 愛人」という精神を身につけた人をつくることにつながります。と掲げられた上代タノ先生と永井隆博士。永井記念館オープンで、両氏に対する本市の取り組み方の隔たりがさらに大きくなったように感じる。上代タノ先生を今までより強く市内外に啓発していくべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>(2) 私の知る限りでは、大東高校と佐世小学校で宣揚されているだけ</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 除雪について	<p>と認識している。</p> <p>教育基本計画に理想の人物像として示しながら、多くの市民に認識されていない実態は、微力ながら、啓発活動的な行動を行う中で「上代タノさんって誰」との声が必ず聞こえる。永井博士を拠点型の啓発とすれば、上代タノ先生は地域分散型とし、総合センターや交流センター。学校図書館など多くの場所の少しのスペースを利用し、市民向けに啓発できるコーナーの確保ができないものか見解を伺う。</p> <p>この冬の降雪時には、いつものように「除雪 SOS」の電話を多くいただいた。年末年始の降雪に対しては、素早く除雪されていて助かったとの声があった一方、1月8日ごろから降り始めた降雪時には、除雪されるまでに3日ほどの時間がかかったと、悲鳴にも似た声が上がった地域もあった。</p> <p>(1)道路に関しては、除雪を行う積雪基準や優先順位がある事は認識しているが、市民に対して基準等が示され伝わっているのか疑問である。改めて、除雪に関し、どのような基準により誰が除雪の可否の判断をするか。合わせて除雪の優先順位に対する考え方を伺う。</p> <p>(2)現在のようなコロナ禍にあって、医療機関へのルート確保は最優先されなければならないと考える。しかし、市立病院及び平成記念病院、いわゆる救急搬送を受け入れている病院へのルートは、救急車も走行し難いありさまであった。命にかかわる事であれば除雪の優先順位は上位になければならないと考えるが見解を伺う。</p> <p>(3)駐車場の除雪に関しては、職員の皆さんが一生懸命行われているが、今期のように休日の降雪に対して、月曜日の人力除雪では通院</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 出産育児一時金 について	患者に対して安全な駐車場の提供が出来ない。市として駐車場確保のための除雪はできないか見解を伺う。 (1) 出産育児一時金について 出産予定を迎える家庭から、多子（双子）出産の予定だが出産育児一時金などの支援はどうかとの相談を頂いた。出産育児一時金は出産費用として 42 万円までが支払われる。これを前提とした時に、多子（双子）の場合どのようになるのか、わかりやすい説明を求める。	
14	15	周 藤 正 志 (一問一答)	1. 市長の政治姿勢 と基本的な考えに ついて 2. 人口減少への対 応について 3. 協働のまちづく りについて	(1) 市長として必要な資質・能力は何であると考えているか。 (2) これまでの雲南市政をどう評価しているか。 (3) 行政マンから政治家への転身だが、基本とする政治理念は何か。 (4) まちづくりの基本は何であると考えているか。 (5) 雲南市の未来像（将来ビジョン）はどのようなものか。 (6) 特定の地域、団体、人に偏重しない公正な職務遂行が求められるが、政治倫理についての考えはどうか。 (7) 市民、議会と今後どのような関係を築いていくのか。 (1) 「人口減少に歯止めをかけ、増加への転換をめざす」と表明があったが、実現できるのか。 (2) 人口減少対策の要諦は何なのか。 (3) 衰退が著しい周辺部対策をどう考えているか。 (1) 「自助、共助、公助」についての基本的な考えはどうか。 (2) 「地域自主組織やチャレンジの取り組みはしっかりした検証が必要だ。成果を説明するプロセスが不足している」（記者会見記	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 行財政運営について	事) とあるが、どういうことか。 (3) 「雲南プライド」は通常使っている“誇りや郷土愛”と何が違うのか。 (1) 健全財政を維持しなければならないが、どう対処するのか。 (2) 組織・職員をどうマネジメントしていく考えか。 (3) 地方分権の現状と課題についてどう考えているか。	